



屋内で蚊に刺されないためには？

はじめと蒸し暑い時期になりました。今年はラニーニャ現象もあって、観測史上でもかなり暑い夏を迎えるかも、とのニュースもあります。これから真夏にかけてくると、イヤな虫の上位に入るカも動きが少し鈍くなります。しかし、まだまだ活発に活動します。刺されるともちろん不快ですし、その姿を見ただけでも目で追ってしまいますね。

みなさんはカに対してどんな対策をとっていますか？カはエサである人のおいに誘われて屋内に何とか侵入してこようとしているので、偶然入ってくる虫用の一般的なセオリー通りの防虫対策で万全…とはいきません。ほかの虫よりも屋内に侵入してくるのは当たり前、侵入してきたものをどうやってやっつけるかを考えていきましょう。

身の回りでよく見かけるカは大きく2つに分けられます。黒地に白のストライプのヒトスジシマカを代表とするヤブカ類と、薄い茶色で周りの景色に溶け込みやすいアカイエカを代表とするイエカ類です。

ヤブカ類は気温25～30℃くらいの夕方から暗くなるまで、イエカ類は気温20～30℃くらいの暗くなってから朝明るくなるまでが吸血のピークで、それ以外の時間は暖かくて暗い、身を隠しやすく、止まりやすいところで休んでいます。主にヤブカは夕方外で、イエカは部屋が暗くなると血を吸いに活動します。姿を見ないから大丈夫！と思って横になってしばらくすると耳元で「…プーン…」、寝られない！これはイエカの仕業かも。目にしなくてもお休み前に、カ対策を考えるのも大切です。

図1：蒸散機の種類
カトリスプロ図2：防虫網戸
タフガードネット

カ対策のグッズはさまざまで、例えば以下のような種類があり、目移りしてしまいますね。

カ対策グッズ例

- ・今でも有効！蚊取り線香
- ・空間中に殺虫成分を漂わせる殺虫剤蒸散機（図1）
- ・吊るしておくカが嫌がる蒸散剤
- ・ワンタッチタイプのアゾール
- ・ガラスや網戸に吹き付ける忌避剤
- ・殺虫成分を練り込んだ防虫網戸（図2）
- ・蚊専用の誘引捕獲器
- ・ヒトに吹き付ける虫よけ忌避剤

…などなど

弊社ではみなさんのおうちだけでなく、オフィス、工場、ビル、店舗…いろいろなシーンを考慮した、効果的なカ対策やその組み合わせをご提案いたします。カにお困りの際には一度ご相談ください。

今月の豆知識

London Underground mosquito

生き物は住む場所に適したもののだけがその場所で生き残っていきます。今地球で活動する生き物はこうした進化の繰り返しで生き残ってきました。今までもそしてこれからも生き残りの戦いが続いています。

そんな進化の一端が見えるのが、「ロンドンの地下鉄蚊」。これはアカイエカから、人間の環境に合わせて進化したカだといわれます。1863年にロンドンで地下鉄が初めて開業し、地下にも人間が進出しました。同時にカも進出したのでしょうか。人でごった返し、時には戦争避難でずっと地下鉄内に人がいる状況。カにとっては狭くて暗いけれど、いつでもエサがあり、真っ暗で狭く暖かい場所。ここで地下での生活に適したカのご先祖様が生き残ったのです。たとえば、近くにエサがある

ので吸血行動が盛んに、いつも暖かいので冬眠しない、もともと飛びながら交尾していたけれど、地下は狭いので止まって交尾、もともと鳥や人の血を好んでいたけれど、ネズミや人に変化、しかも吸血しなくても1回産卵できる…とヒトには迷惑な適応をしたカ。いまでは姿はそっくりでも、地上のカとはもはや交われない亜種へと進化しました。これが「ロンドンの地下鉄蚊」です。

このカは日本では「チカイエカ」と呼ばれ、同じように地下では一年中姿を見ることができます。独自の生き方に進化したアカイエカ改めチカイエカ達。地下街やビルなどを多く抱える都市部では問題となり地上でも増えているそうです。

皆様の周りのイエカはどちらでしょうね？

